

令和7年度 松山市市民活動推進補助金申込書

補助の種別 (○で囲む)		立ち上がり支援事業 成熟促進支援事業 市民協働まちづくりモデル事業
申 込 団 体	団体名	(複数団体で申込み場合は、代表となる団体名を入れてください) 特定非営利活動法人 ○○○
	代表者名	理事長 正 岡 子 規
	連絡先担当者	担当者名 夏目 漱石 住 所 〒790-11×× 松山市二番町1丁目1番地 蜜柑ハイツ102号 電 話 ○○○-○○○○ E-mail souseki@natsume.com <small>(Excel, Word, PDF等の資料が受信可能なアドレスを記載してください)</small>
	設立年月日	S・H・ R 6年 7月
	複数団体で申込み場 合、上記以外の団体名	特定非営利活動法人 △△・NPO団体■ ■
	市の関係課等 (※市民協働まちづく りモデル事業のみ記入)	○○○○○○○○課
活動分野	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健、医療または福祉の増進を図る活動 2. 社会教育の推進を図る活動 3. まちづくりの推進を図る活動 4. 観光の振興を図る活動 5. 農山漁村・中山間地の振興を図る活動 6. 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動 7. 環境の保全を図る活動 8. 災害救援活動 9. 地域安全活動 10. 人権の擁護または平和の推進を図る活動 11. 国際協力の活動 12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 13. 子どもの健全育成を図る活動 14. 情報化社会の発展を図る活動 15. 科学技術の振興を図る活動 16. 経済活動の活性化を図る活動 17. 職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動 18. 消費者の保護を図る活動 19. 上記1から18の掲げる活動を行う団体の運営 または活動に関する連絡、助言または援助の活動 	
上記のうち今回の補助事 業に関連する分野をご記 入ください。(3つまで)	1、3	<p>応募事業の該当分野を選んでください。(団体の活動分野ではありません)</p>

立ち上がり支援事業と成熟促進支援事業を複数回目の申込みとなる団体は「(4)前回補助を受けて事業を実施した際の振り返りと今回実施に際しての改善や発展させたことについて」の記載が必要。成熟促進支援事業を申込み団体は「(5)貴団体の自立的運営の見込み」の記載が必要。

1. 事業計画

事業名	〇〇に関する啓発活動
<p>< (1) 事業の主旨・目的・目標 > <small>(応募事業の主旨・目的・目標が、上欄で選択した分野に関する事業であることが分かるように、明確に記入すること)</small></p> <p>【主旨・目的】 現在、全国的に〇〇が深刻な問題となっている。××省の統計資料によると〇〇の社会的認知度は全国平均で60%と公表されており、決して高い数値とは言えない状況にある。また、松山市でも同統計資料にて社会的認知度は40%と公表されており、全国と比べると20%も低い状態にある。これらのデータから、〇〇の認知度向上と、〇〇への意識変革が喫緊の課題であることは明らかである。 そのため、当団体は市民に対して〇〇の正しい理解を深め、△△や■ ■等の事業に取り組むことにより松山市における〇〇の社会的認知度の向上を目指す。</p> <p>【事業目標】 <small>(定量)</small></p> <p>「現状値」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会の来場者数 40名 (R6年度実績) ・ 松山市の社会的認知度 40% (〇〇省の統計資料より) <p>「目標値」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会の来場者数を50名にする。(25%増加) ・ 社会的認知度を50%とし前年度より10%向上させる。(全国平均60%) <p><small>(定性)</small></p> <p>〇〇に対する課題を市民に広く知ってもらい、将来的に〇〇のためには××をしなければならぬという意識を持って実際に行動してもらうきっかけをつくること。</p>	

< (2) 事業内容 >

令和7年度は、以下の(1)～(3)の事業を行う。

(1) ○○についての講演会及びワークショップを開催

○○について正しい知識を持ってもらい、××という取り組みが重要であることを市民に広く知ってもらうため、講演会及びワークショップを開催する。

【講演会及びワークショップ詳細】

日時 令和7年○月○日 () 13:00～16:00
会場 松山市男女共同参画推進センター (コムズ)
後援 ○○テレビ、△△新聞、松山市■■■協会 (予定)

(講演会)

演題 ○○の社会的背景と課題について
講師 高知県土佐大学 坂本龍馬教授
参加者 50人
参加費 1,500円

(ワークショップ)

テーマ みんなで考える松山の○○について
講師 株式会社○○ 代表取締役 武田信玄氏
参加者 100人
参加費 500円

(2) ○○を広く周知するためのチラシやポスターの作成

昨年度のチラシ作成に加え、今年度はポスターも作成し、関係施設等に掲示を行う。
また、チラシの配架については、松山市の市民活動配送便を活用予定。

(3) ○○を正しく理解するためのアイテムの作成 (無料)

年間を通して○○に関する意識を持ってもらうため、将来的な収益を見込んだアイテムを作製する。

○具体的な事業内容がわかるよう、なるべく詳しくお書きください。補足資料を添付しても構いません。

○謝礼を支払う講師等については、氏名(未定の場合は「大学教授」「企業関係者」「○○専門家」などの想定)を明記してください。

< (3) 補助事業を行うことにより、松山市にどんな効果をもたらすか >

本事業の実施をきっかけに、松山市における〇〇の社会的認知度が向上し、市民に解決策を実践してもらうことで松山市全体の〇〇が減少し、健康な市民が増え、松山市の社会保障費の支出抑制につながる。

また、講演会には、親子や子どもの参加を多く見込んでおり、幼いころから〇〇問題について触れる機会を提供することで、松山市の〇〇教育の増進につながり、子どもの〇〇意識を育成することが出来る。……

○具体的に記載してください。
(目的、目標がどのような効果をもたらしたか記載してください。)

< (4) 前回補助を受けて事業を実施した際の振り返りと今回実施に際しての改善や発展させたことについて >

(※立ち上がり支援事業と成熟促進支援事業を複数回目の申込みとなる場合のみ記載)

【前回の振り返り】

- ・令和6年度の講演会では、来場者数が目標の〇〇%しか達成できず、周知方法に課題があることが分かった。
- ・昨年度まで、〇〇に関する講演会を多数開催してきたが、講演会開催だけでは、市民に広く周知させることは難しいと感じた。

【今回の改善・発展案】

- ・これまでのチラシ等の配布に加え、ホームページやインスタグラムなどを立ち上げ、周知活動を強化する。
- ・ワークショップを開催し、参加者が主体的に〇〇について考える機会を設ける。
- ・講演会に来場しやすくするための環境整備として、託児サービスを実施する。
- ・〇〇に関するアイテムを〇〇個作成して、関係機関などに配布し、市民などの目に触れる機会を設ける。

○客観的な視点から課題を分析する。
○「イベントを充実させる」「人を増やす」など抽象的な改善案ではなく、どうイベントを充実させるのか、どのように人を増やすかなど具体的に記載してください。

< (5) 貴団体の自立的運営の見込み >

(※成熟促進支援事業を申し込む場合のみ、補助終了後にどのように活動資金を確保するか記載してください。)

年間に必要な活動資金は約〇〇〇円であるため、以下の方法で活動資金の確保を行う。

・令和7年度は〇〇に関するアイテムを作製し、講演会の参加者や関係者に無料で配布しながらアイテムの改良等を行い、令和8年度以降で通年販売(有料)し、安定した収入を確保する。

【目標】

△△：1個〇〇円×100個＝〇〇〇円

××：1個〇〇円×200個＝〇〇〇円

合計〇〇〇円

・□□サイトにてクラウドファンディングを立ち上げ、目標額を〇〇〇円に設定し、多くの方から寄付金を募る。……

< (6) 貴団体の今後の事業展開 >

・令和8年度以降、新たな取り組みとして、〇〇を実際に体験してもらうイベントの開催を予定。より自分事として〇〇を認識してもらうことを目標とし、〇〇の啓発に取り組む。

・今後、事業拡大していく中で、必要な資金を調達できるかが懸念事項であるため、来年度からクラウドファンディングを立ち上げ、新規事業への資金確保に努める。

○貴団体が目指す将来の活動内容等について
記載してください。

< (7) スケジュール >

月 日	内 容
○月初旬	第1回実行委員会 〔講師の選考打ち合わせ、アイテムの作成打ち合わせ〕
○月中旬ごろ	第2回 実行委員会 〔講演会に関する打ち合わせ〕
○月～	報道各社に協力依頼（事前告知開始） ポスター・チラシの配布（市内〇〇等 1000 枚）
○月〇日	講演会、ワークショップ開催 アイテムの配布
○月中	第3回実行委員会 〔今年度の振り返り、次年度に向けた協議〕

補助対象事業にかかるスケジュールを記載して下さい。
なお、事業の期間は令和7年4月1日
以降から令和8年2月28日までとなります。

< (8) 市民の参画や他団体との連携 >

（複数団体で申し込む場合は、各団体の役割分担、市民協働まちづくりモデル事業の場合は、行政との役割分担を記載すること。）

市民の参画には、市民の講演会参加に加え、アイテムを活かした啓発にも協力していただく予定。

また、他団体との連携では、NPO〇〇がイベントの周知や、ポスター・チラシの作製、配布を担い、当日の託児サービスは、NPO■■に依頼する。

事業を実施するにあたり想定している市民の参画や他の
団体との連携について、内容を詳しく記載してください。

< (9) 今回の補助事業の周知方法 >

事前に報道各社に資料を提供し、講演会の周知を図る。

講演会開催後は内容を冊子にまとめ関係機関への配布をする。

○市民など社会に対する事業内容の周知方法
○事業実施の成果を団体としてどのように市民に公開するか。
等について記載してください。

2. 収支予算書

(1) 収入の部

1,000 円未満切り捨て

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
市補助金 (見込額)	253,000	補助対象経費 <u>380,000</u> × 2/3 ※注
参加費収入	125,000	@1,500 円 × 50 人 @500 円 × 100 人
会費収入	2,000	
合 計	380,000	

(2) 支出の部

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
報償費	<u>130,000</u> ※1	講師謝礼 ○月○日 (講演会) 坂本龍馬氏へ 50,000 円 (ワークショップ) 武田信玄氏へ 50,000 円 ボランティアへの謝礼 △月△日 (イベント名) 30,000 円 (単価 × ○名分)
旅費	<u>50,000</u>	講師交通費 坂本龍馬氏 高知ー松山 高速道路使用料 10,000 円 × 5 回 ※2
需用費	<u>100,000</u>	印刷製本費 50,000 円 消耗品 (用紙・インク代など) 50,000 円
役務費	<u>20,000</u>	郵便料金 (切手代) 10,000 円 保険代 10,000 円
会場使用料及び賃借料	<u>80,000</u>	○月○日 コムズ使用 50,000 円 △月△日 コムズ使用 30,000 円
合 計	380,000	

※注 立ち上がり支援事業は、補助対象経費の 2/3 以内で、上限は 40 万円です。

成熟促進支援事業は、補助対象経費の 1/2 以内で、上限は 30 万円です。

市民協働まちづくりモデル事業は、補助対象経費の 1/2 以内で、上限は 100 万円です。

※1 補助対象経費に下線を入れてください。

※2 交通費は行き先、手段、単価等を明記してください。